



いきいきとした町づくりをめざして

# 議会だより かつうら

No. 16

2001. 8. 15発行

発行 徳島県勝浦町議会

編集 議会広報調査特別委員会

〒771-4395 徳島県勝浦郡勝浦町久国

TEL (08854) 2-2511

ウワァー つめたそう (横瀬保育所)

このようなことが決まりました — 2

委員会の活動報告 — 4

グリーンツーリズム施設を視察 — 5

町の姿勢をただす — 6

新しい委員会 — 13

声のひろば — 14



# 6千円を可決

## 5,000万円を減債基金に

### 6月定例会

#### 歳入

国民年金事務費委託金	30万円
放課後児童健全育成事業補助金	14万円
自主防災組織補助金	32万円
前年度繰越金	6,258万円
雑入	73万円

#### 歳出

職員給料(理事など)	1,223万円
減債基金積立金	5,000万円
放課後児童健全育成事業	59万円
国民年金費	32万円
防災訓練	93万円

# このようなことが決まりました

六月十三日から二十一日までの九日間開かれ、補正予算、議員提出の意見書二件などを審議し、全員一致で可決しました。  
また、議長、副議長の選挙と委員会委員の選任、議会選出監査委員の選任同意が行われました。  
一般質問には七人の議員が登壇し、町の姿勢をただしました。

#### 指名推選で

宮本久治議長  
溝田義昭副議長を選出

いよいよ



溝田副議長



宮本議長

このたび、議員各位のご推挙により、議長、副議長の重責を担うことになりました。浅学非才ではありますが、議会の円滑な運営と町の発展に力を尽くしたいと思えます。  
今、国では痛みを伴う構造改革が断行されようとしており、住民の生活はもとより、町の財政もますます厳しくなることが予測されます。  
将来の町の姿はどうあるべきかを皆さんと共に考えなければならぬ重要な時期であり、住民と行政、議会が心を一つにして前進していきたいと思っておりますので、今後とも、より一層のご指導、ご協力をお願い申し上げます。



みかん振興に全国の力を結集

# 一般会計補正予算

# 6,406万

## 臨時会

平成12年度一般会計補正予算

# 2億6,375万円を追加

**答** 予備費は一億円以上必要と思う。減債基金には少しでも多くを充てたい。

**問** 一億八千五百万円余りを予備費として計上しているが、予備費の中から一億円以上を減債基金に充ててはどうか。

第三回臨時会を五月三十日に開催し、条例改正、平成十二年度一般会計補正予算の専決処分の承認などを審議し、全員一致で可決しました。

## 議員提出議案

### 道路整備予算の確保に関する意見書

地域格差を是正するため地方の道路財源を確保するとともに、地方財政対策を充実することなどの内容。  
提出先 総理大臣、財務大臣、国土交通大臣ほか

### 乳幼児医療無料制度の創設を求める意見書

少子化対策、子育て支援策として各自治体によって格差のある乳幼児医療助成を、国の責任で制度を創設するように要請する内容。  
提出先 総理大臣、財務大臣、厚生労働大臣ほか

## 坂小跡改造

## 請負契約を可決

第四回臨時会を八月二日に開催し、グリーンツーリズム事業の坂本交流施設建築工事（契約金額九千九百二十万円 光井建設）、設備工事（六千九百九十九万五千円 椎平建設）の請負契約を、全員一致で可決しました。

**問** 予定価格の何%で落札されたのか。  
**答** 二件とも約九十三%であった。

**問** 完成予定の二月十日までにできるのか。  
**答** 複雑な工事だが、遅れないようにしたい。

**問** 予算議決から五カ月余り過ぎての入札だが、地元の運営体制等は心配ないか。  
**答** 万全の体制で、成功させたい。

## 議会選出監査委員

森 健 議員の

選任に同意



# 総務

## 財調基金に

## 八千万円を積み立て

六月四日に委員会を開き、一般会計補正予算と土地開発公社の収支決算の報告等を審議しました。

**理事者から** 十二年度の決算見込みについて説明、財政調整基金に八千万円を積み立てたとの報告がありました。

**問** 十二年度の地方債の総額は、借り過ぎでは。

**答** 五億八千五百七十万円で借り過ぎではない。今後有利な起債は借りていきたい。

## 土地開発公社の土地利用は

**問** 棚野の開発公社の土地は、今後、どのように活用するのか。

**答** 横瀬橋関連工事の立ち退き用に確保したが、現在は不燃物加工品の置き場として利用している。

## 星谷運動公園で防災訓練

九月二日に星谷運動公園で防災訓練が行われ、徳島県消防防災ヘリコプターをはじめ、陸・海上自衛隊の特殊工車などが参加し、大規模な訓練が予定されていると説明がありました。



棚野の土地開発公社用地

**問**

**答**

訓練内容は、また、参加者の人数は、勝浦町で震度六強の地震が起きたと想定して行われる。参加者は約五百人の予定である。

# 活動報告

## 産業建設

### 勝浦縫製

### 工場閉鎖の方向

五月十六日、六月六日、委員会を開き勝浦縫製問題などについて審議しました。

勝浦縫製の安平社長に出席を求め、状況等の説明を受けました。

**問**

**答**

誘致企業の勝浦縫製を閉鎖するというが、現況は安平社長 高齢による品質や労働力の低下により、生産性が上がらない状況では閉鎖はやむを得ない。

**問**

規模、人員の縮小、経営方法を変えるなどして会社を存続できないか。

**答**

安平社長 存続は難しい。

従業員によると、現在は、労使が条件面（退職金問題、過去の残業に対する未払金等）について話し合っている状況とのことである。

### 勝浦地区普及協議会 小松島へ統合

「平成十四年度から小松島と勝浦地区普及協議会を一本化したい」と県から連絡を受けたとの説明がありました。

**委員から** 県が進めている機構改革のなかでの統廃合であるので、廃止もやむを得ないのでないかとの意見が出されました。



存続が難しい勝浦縫製

## 勝浦病院 給食の民間委託も検討



厳しさを増す病院経営

五月二十二日、六月五日、委員会を開き、国民健康保険条例の一部改正、住宅新築資金補正予算、病院事業の決算状況及び十三年度補正予算について審議しました。

**問**

勝浦病院の給食の民間委託は。

**答**

今後、民間委託も検討する必要がある。

### 住宅新築資金

**問**

滞納の状況は。

**答**

滞納者は十人で、金額は約三千万円である。

**問**

滞納者への対応は。

**答**

県の指導を受けながら、法的措置をとるものと欠損処分するものとの振り分けて対応していきたい。

常任委員会

議員視察報告

## 地元農家の野菜が食材に

### グリーンツーリズム施設

協町・美村が丘を視察

坂本小学校跡でのグリーンツーリズム事業の参考にするために、七月二日、議会議員十三人と町長はじめ理事者が協町・美村が丘を視察しました。

協町の佐藤町長、中山議長、原農林課長、篠原支配人から説明を受け、質疑応答を行いました。

施設は、総事業費三億五千万円で昨年七月にオープン。山の頂上付近に建てられており、眼下に広がる吉野川と街並みの眺めはすばらしく、しゃれた建物も魅力的。

町が五十五%出資の第三セクター・ふるさとわかまち株式会社（社長・佐藤町長）が運営しており、専属の支配人と臨時職員三人、地元のパートという体制です。

利用者は、十カ月で約二千七百人、当初計画の年間四千人を下回っています。特に、地元協町の利用者が六十%を占め、県外客はわずか十五%であり、都市との交流という趣旨はまだ十分には生かされていません。食事の材料には、地元農家の野菜等がふんだんに使われており、農業の活性化につながっているようです。生活改善グループと協力して、うどん打ちなどのイベントも行っていますが、県内の利用者が大半。

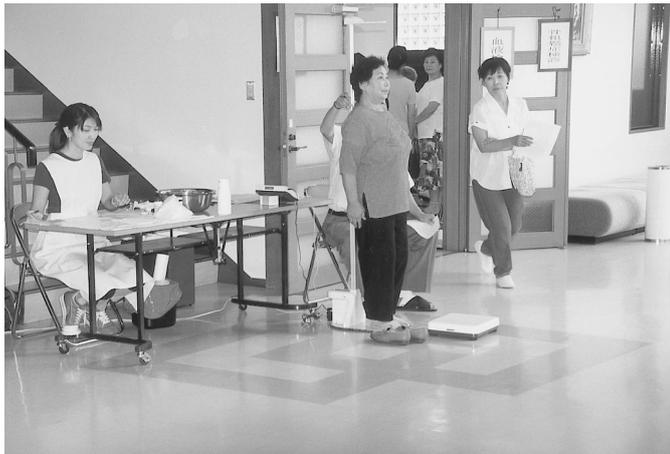


地元利用者が多い美村が丘の施設

## 国保税を還元しては

### 保健事業などを充実（町長）

森 敏治 議員



保健事業を充実

**問** 国民健康保険事業は、三億八千万円のゆとりがある。保険税は、毎年少しずつ減額はしているものの、重税感が町民に大きいのしかかってきている。何らかの形で被保険者に還元すべきでないか。

**答** 川口町長 このゆとりは、特別交付

税の積み上げと保健事業をうまく活用した結果などいろいろな理由がある。現在、保健婦の充実、人間ドック、脳ドックなど保健事業で還元しているが、今後、事業を充実し還元していきたい。

### 町税の垂償滞納者には強硬措置を

**問** 町税の滞納繰越額がかなりあると思われるが、どのように対応しているのか。また、悪質な滞納者は強制執行を含め対応すべきでないか。

**答** 島務課長 滞納者には、納税相談や電話、訪宅等で納税思想の向上をお願いし、信頼関係を深めながら、分納等を含め納税してもらっている。十一年度と十二年度は十年度の倍の金額が徴収されているが、今後はなお一層納税者と接する機会を多くして、徴収率の向上に努めたい。また、約束を守らない悪質な納税者には段階的に滞納処分を考えていきたい。

### 財政硬直化への対応は

**問** 十三年度の一般会計予算算は、前年と比べ六・七%減の三十五億二千万円余りである。その中で、人件費、扶助費、公債費などの義務的経費の割合が高くなり、財政の硬直化が進んでいるが、どのような対応がされているのか。

**答** 秋本総務課長 昨年と同様、新行政改革大綱に基づき、財政の健全化に努めている。現時点での対応策は、行財政の見直しによる事務事業の効率化とあわせ



改良が急がれる旧坂本県道

### 坂本旧県道の移管はいつ

**問** 坂本旧県道の町への移管時期はいつごろと考えているか。

**答** 坂井建設課長 県は一日も早くと言っているが、改良の状況を見て検討したい。

**問** まだまだ狭い所、側溝のない所、落石の危険箇所や旧坂本小

学校入口の改良など課題も多い。移管前に改良すべきだ。  
**答** 坂井建設課長 以前から十二箇所の改良要望があり、六箇所は対応している。残りについては、町移管の条件として予算の増額を要望していきたい。

### 学校の安全管理は

**問** 大阪の小学校で大変な事件が起きた。町内の学校の安全管理はどうしているのか。

**答** 山平教育委員会事務局長 学校では「子供一〇番の家」の設置や校内巡視など十項目の取り組みが行われている。今後は、教育委員会、警察、PTAなどにより安全対策を協議する場を設置し、横の連携を密に取り組みたい。また、校長や教頭による校内巡視や児童、生徒の避難方法等の訓練など再点検していきたい。

## 簡易水道の水源地保護

### 周辺を町有林にしては

現段階ではまず不可能（総務課長）

中田丑五郎 議員



**問** 支援はまず不可能である。保全すべき森林の公有林化の推進について、国が森林山村対策として、財政上の支援を講じている。県内九カ町村では保全林整備事業を活用し、森林の適正な維持管理を図っているが、町としての対応は。

**問** 町内八箇所の簡易水道は谷川を水源としている。良質な水を安定的に供給するには、水源周辺の森林環境整備が不可欠だが、林業離れが進み放置森林が増加している。長期的視点に立つて、水源周辺の民有林を購入してはどうか。

**答** 秋本総務課長 農林業資源が地球環境に果たす役割は大きい。木材価格の低迷等による山の手入れ不足は理解できるが、現段階での財政



簡易水道の水源地保護を

**答** 川口町長 長期的な視点に立つて、国や県の補助事業や町の財源を使つての森林整備等を考えてみる必要がある。

**問** 「緑豊かな森林」という先人から受け継いだ貴重な財産を、未来に引き継ぐ責務があると思う。森林所有者だけに維持管理を任せる時代でなく、「水と空気はタダ」という時代でもないと思うが、その認識は

**答** 川口町長 趣旨は十分理解しているが、今後、いろいろな観点から総合的に判断し検討していきたい。



改修が急がれる久国谷川

### 県道浸水箇所の解消策は

**問** 久国谷川の増水により、県道や家屋の床下浸水が発生している。浸水箇所の解消は地元住民の長年の要望であるが、谷川の改修、用排水の施設整備を行つてはどうか。

**答** 坂井建設課長 解消策として谷川の水を分散する方法等が考えられるが、県道横断の暗きよをやり変える方法がよいとの調査結果が出ている。農業振興を含めた総合的整備計画ができれば、その時点で考えていきたい。

**問** 浸水解消のため、地域住民が協議する資料として事業計画書を作成しては。

**答** 坂井建設課長 どの事業が適当なのかよく検討した上で、今後の課題として計画書を作成していきたい。

### 徳島県総合防災訓練の内容は

**問** 本町で予定されている県総合防災訓練の内容は。

**答** 秋本総務課長 九月二日に星谷運動公園を会場として、勝浦町を震源地とする地震発

生を想定し、倒壊家屋の被害者救助等三十項目の訓練内容となっている。地元消防団、婦人会、小学校等も参加して訓練が行われる。

**問** 山林火災の訓練実施については。

**答** 秋本総務課長 地震により山林火災が発生することを想定し、ヘリコプターによる消火、地元消防団による水の供給等の訓練を実施する。

### 住宅マスタープラン事業の財政支援は

**問** アンケート調査等の結果を検討し、十三年度中に実施の判断をするというが、宅地造成に対する財政支援のあり方は。

**答** 秋本総務課長 団地造成とこれに伴う幹線道路は、起債対応を考えていきたい。それ以外については設計書等を検討し、できる範囲の支援はしなければと考えている。

## 交付税一兆円減額の影響は

### 勝浦町では一億円減で

#### 影響は大きい（総務課長）

中西晴美 議員



### 外部から見た町の財政状況は

**問** 理事は着任後二カ月の財政状況についての率直な感想は。また、町長の今後の財政運営についての考えは。

**答** 数藤理事 今年度予算は前年対比六・七%減であり、地方交付税や税収が減った分、補助金カットやその他の支出を抑えている。大分苦勞しているなあと感じる。

**問** 国は地方に対し、ナショナルミニマムの観点から、地方交付税や補助金で対応してきたが、交付税一兆円を減額するといっている。町にとってどのような影響があるのか。

**答** 秋本総務課長 交付税の率で見ると五%、それから計算すると勝浦町では一億円の減となる。これを十二年度にあてはめると、投資的経費は二億七千二百万円しかなく、一億円の減となると大きな影響を受ける。

もう一段の歳出カットや工夫が必要と思う。

**答** 川口町長 過去の財政ひっ迫の要因となり、新たな事業がやりにくくなっている。だが、十年先を考えてどうしてもやらねばならない事業と判断した場合は、財政が現状より悪化してもやりた

い気持ちはある。しかし借金返済に八億円余り、借り入れは六億円以内と

いう方針を崩さないようにしたい。

### 十年後勝浦町の産業はどうか

**問** 人口が毎年百人以上減少し高齢化も進む状況では、産業構造も変化せざるを得ない。十年後にはどのような状況と予測されるか。



10年後の勝浦町の姿は

**答** 戸川産業振興課長 農地は現在の五百八十haが五百二十ha以下に、また、農家戸数は八百五十三戸が六百から七百戸ぐらいになると予測される。

誘致企業については、現在も減少してきており、将来も非常に厳しいと思う。商工業についても人口の減少に伴い減少が予測される。

### 同対課廃止と地籍調査課の設置は公約でないか

検討するということ  
答弁はした町長

**問** 来年度の同和对策課廃止のとき、地籍調査課を設置するのは町長の公約ではないか。

**答** 川口町長 同和对策課廃止のとき、地籍調査課を設置するかどうか検討するという答弁はしたが、設置するとは明言していない。

**問** 地籍調査のメリツトと財政負担は。

**答** 坂井建設課長 公共工事のための用地買収がスムーズになり、境界トラブルなども解消できる。事業費は県の設定によると一km当たり千九百六十一万円になっている。補助率は国五十%、県二十五%、町負担が二十五%だが、そのうち二十%は特別交付税があるので実質は五%となる。

**答** 島務課長 地籍調査は公平課税の指針となり、住民の財産管理も明確になる。地積が増えて固定資産税の増収につながると思っ

**問** 地籍調査の町負担は、一km当たり百万円位でできるようなので、思いきって課を設置しては。

**答** 川口町長 国、県の補助率が高いが経費だけなのか、事務費等はどうかなど把握できていない。同和对策課の廃止と併せて検討したい。

※ナショナルミニマム 国民が生活するために必要な最低の条件

赤線・青線の補修

## 町有バックホーの無料化を

財政的に無理（建設課長）



森 健 議員

**答** 戸川産業振興課長  
地域の連帯感を育むためにも、共同作業として中山間地域等直接支払制度を活用してはどうか。バックホーは時間当たり三千六百元であり、補助対象となる。

グリーンツーリズム事業  
地代十年分を  
先払いしては

区との協議が必要  
（産業振興課長）

**問** グリーンツーリズム事業の運営資金についての不安は解消されていない。区が協力することを条件に、町が旧坂本小学校の敷地料として毎年支払っている三十四万円を十年分先払いし、資金として支援をしてはどうか。

**答** 戸川産業振興課長  
区と事業とは別のものと考えている。

**答** 山平教育委員会事務局長 校舎等は教育財産としては廃止しており、グラウンドと夜間照明を社会体育施設として利用することで賃借料を支払う予定にしている。施設完成後のことについては区と協議中である。

**問** 勝浦町の事業実績は県下でも大きなウエイトを占めていると聞かすが、どのような状況か。また、地域活動の内容は。

**答** 戸川産業振興課長  
三十六市町村が取り組み、勝浦町は面積で十二・九％。交付金額は十一％を占め県下一位である。活動の内容は、草刈り、用水の管理、農機具、農業の共同購入、景観作物の作付等である。

**問** 勝浦高校パイロット実習園跡地はこの制度の対象地となるか。



直接支払制度の対象とならない勝高実習園跡地

## 中山間地域等 直接支払制度 の状況は

**問** 勝浦高校パイロット実習園跡地はこの制度の対象地となるか。

**答** 戸川産業振興課長  
現況では対象とはならないが、貸し付けや委託した場合は対象になる。

**問** 勝浦高校パイロット実習園跡地はこの制度の対象地となるか。

**答** 数藤理事 住民のニーズを反映させるためには、市レベルの規模は必要と思う。

**答** 倉橋助役 職員の研究会で周辺八市町村について財政状況などを調査研究している。資料収集ができ次第、議会の合併調査特別委員会に提示したい。

**答** 川口町長 合併は必要と認識し、取り組む気持ちはあるが、議会や住民の意見を十分聞きたいと思っている。

## どうする市町村合併 取り組む気持ちはある

（町長）

**問** 国の行財政改革や地方分権の受け皿として望ましい自治体の規模や、町の取り組みは、また、町長は合併とい

**問** 山合いの法定外公共物（赤線・青線）の維持管理が十分でなくなり、集中豪雨時には土砂災害の恐れがある。関係者で行う小規模の修復に町有のバックホー（ユンボ）の無料化や、石代の補助はできないか。

**答** 坂井建設課長 赤線・青線の管理については町が行うことになっているが、財政的に無理である。小さな維持補修は、従来通り関係者で対応してもらいたい。



赤線・青線管理に町有バックホーの無料化を

リサイクル法

## 施行後の実態調査は

県と町で五回実施（住民課長）

福德重二 議員



ミフエンス付近に違法で  
あるテレビ、洗濯機、冷  
蔵庫が置いてあった。

**問** 四月からリサイク  
ル法が施行され、  
冷蔵庫、テレビ、洗濯機  
エアコンの四品目が法の  
適用となった。不法投棄  
の心配があるが、調査は  
しているか。また、その  
内容は。

**答** 尾原住民課長 四  
月から現在までに、  
県と町とで五回実施した。  
いつごろ投棄したかは特  
定できないが、山合いに  
は洗濯機、産業廃棄物、  
家具や家庭ゴミの投棄が  
ある。また、町指定のゴ



大井峠の不法投棄現場

**問** 環境保護条例は前  
向きに研究すると  
のことだが、今後、リサ  
イクル法の指導はどのよ  
うにしていけるのか。

**答** 尾原住民課長 警  
察や町のパトロー  
ル、看板などあらゆる方  
法で指導していく。また、  
町民の理解と協力を繰り  
返し繰り返しお願いして  
いきたい。

## パソコン講習会 成果と今後の 見通しは

**問** 一丁戦略や国の景  
気対策の一環とし  
て、本町でもパソコン講  
習会を開催しているが、  
その状況と受講者の反応  
は。

**答** 山平教育委員会事  
務局長 講習会は  
二十回の予定で百人余り  
が受講している。八月末  
までに終わる予定であり、  
七回講習を終わった段階  
である。三十歳代の人は  
少なく、五十歳代の受講  
者が多い。受講者へのア  
ンケート結果では、わか  
りやすかったが七十二%、  
今後もぜひ受講したいが  
八十九%で、もう少しレ  
ベルの高い講習会をして  
ほしいとの意見もある。

**問** 受講して、ただ  
「よかった」では  
意味がない。今後、町の  
活性化や経済効果にどの  
ように結びつけていくの  
か。

**答** 山平教育委員会事  
務局長 社会教育  
の中に情報の基盤を備え



真剣に取り組む受講者

つけることが講習会の目  
的であるが、四百八十人  
の申し込みがあり、講習  
会は盛り上がりつつある。  
経済効果としては、講師  
の謝礼やパソコン機器の  
購入も期待できると思う。

## 町長に残された 課題は

**問** 町長の任期もあと  
半年であるが、選  
挙の時公約した数々の課

題や任期中に計画した事  
業について、まだまだ執  
行できていないものがた  
くさんある。任期中に消  
化できるのか。

**答** 川口町長 行財政  
改革もまだ道半ば  
であり、グリーンツーリ  
ズム事業も早く進めたい。

沼江バイパスや県道柳  
原工区の道路改良も見通  
しは定まっている。で  
きていないこともたくさ  
んあるが、任期中精神力

に頑張っていきたい。

## 小泉内閣の不良債権処理 商工業者への影響は

### 倒産続出と雇用不安も (理事)

井出幸夫 議員



**答** 川口町長 はかり  
知れないマイナ  
面が出てくるのでないか  
という不安がある。

**答** 数藤理事 零細企  
業が多いので、資  
金回収によって、倒産の  
続出と雇用不安が起きる  
心配がある。



不良債権処理 町内商工業者への影響は

**問** 日本経済はデフレ  
の悪循環に陥って  
おり、失業者は三百四十  
万人を超えている。  
小泉内閣は、中小企業  
の不良債権回収という方  
針を打ち出したが、融資  
の打ち切りや資金回収が  
行われると、二十万から  
三十万社が倒産に追い込  
まれ、百万人以上の失業  
者が生まれるという試算  
も出ている。町内でも、  
この数年間にいくつもの  
企業が倒産撤退している  
が、今後の影響は。

**問** 商工会関係者は、  
「建設業者は公共  
工事の発注が減りどん底  
だ。商店も含めて赤字経  
営が相当ある。いくつも  
の銀行から運転資金を借  
りている業者も少なくない  
ので、不良債権処理が  
行われると、倒産するこ  
ろが相当出るのでない  
か」と言っている。商工  
業者の経営状況について  
実態把握をすべきだ。

**答** 川口町長 大変厳  
しい時代が来るの  
は間違いないだろう。  
**答** 戸川産業振興課長  
経営状況調査につ  
いては、商工会と協議し  
たい。

### 坂小跡の改造 入札執行の条件は

**問** 坂本地区実行委員  
会の体制が崩れ、  
今後の運営に大きな不安  
を与えた。施設改造の事  
業を入札執行するまでに  
整えなければならぬ条  
件は何か。

**答** 戸川産業振興課長  
実行委員会組織の  
明確化、町と実行委員会  
との管理委託契約の締結、

新しい実行委員会の決意  
表明、運営費や水道問題  
の解決などである。

**問** 坂本地区としても  
本間にこの事業を  
望んでいるのだろうか。  
やめるのであれば今しか  
ない。補助金の返還は可  
能か。その場合、町とし  
て不利益を受ける可能性  
は。

**答** 川口町長 何とし  
ても成功させたい。  
**答** 秋本総務課長 原  
則として返還はで  
きない。戻した場合には、  
今後、このような補助事  
業を申請しても採択は難  
しくなるなどの制裁措置  
がある。

### 勝浦縫製で サービス残業

**問** 勝浦縫製工場では、  
夜の八時や九時ま  
でサービス残業し、また  
休日も奉仕出勤させられ  
ながら、賃金が払われて  
いなかった。誘致企業で  
の労働基準法違反につい  
てどう思うか。

**答** 勝浦縫製工場では、  
夜の八時や九時ま  
でサービス残業し、また  
休日も奉仕出勤させられ  
ながら、賃金が払われて  
いなかった。誘致企業で  
の労働基準法違反につい  
てどう思うか。

**答** 戸川産業振興課長  
遺憾に思う。町内  
の企業に対して法律遵守  
を要請していきたい。

**問** 「災害や病気、事  
業の休止など特別  
な事情がある場合には、  
資格証明書の発行はしな  
い」となっているが、具  
体的な基準は。

**答** 島務課長 五十  
八世帯、百二人で  
ある。理由は把握してい  
ない。  
**問** 法律改正によって  
一年以上国保税を  
滞納すると、被保険者証  
を取り上げられ資格証明  
書が発行されることになっ  
た。病院へ行けば、医療  
費全額を払わなければなら  
なくなる。一年以上滞  
納している被保険者数と  
その理由は。

**答** 島務課長 今、  
検討中である。

### 一年以上の国保税 滞納世帯数は

五十八世帯  
(税務課長)

## 町道維持補修

## 各区の要望にどう対応

全線実施に努力したい（建設課長）

西浜勝己議員



町道維持補修の対応は

**問**

町長所信表明の重点項目に道路網の整備がある。前課長は「町道である以上、悪いところは補修しなければならぬが、予算が少なくその枠内で辛抱してもらわなければならない。区長会等で優先順位を協議していきたい」との答弁だったが、どのような協議をしたのか。また、各区からの要望とその対応は。

町長所信表明の重点項目に道路網の整備がある。前課長は「町道である以上、悪いところは補修しなければならぬが、予算が少なくその枠内で辛抱してもらわなければならない。区長会等で優先順位を協議していきたい」との答弁だったが、どのような協議をしたのか。また、各区からの要望とその対応は。

**答**

坂井建設課長 区長会には出席できなかったが、各区長には維持補修の必要な箇所は早急に連絡するよう伝えられた。現在十六路線の要望があり、全線実施できるような努力したい。



見直しが行われる敬老町民の集い

議会と見直し協議を行い、勝浦中学校体育館で実施し、午前中に終わりたい。芸能は婦人会に協力をお願いしている。また、敬老記念品などは商工会発行の商品券を贈ることとした。

## 敬老町民の集い

## の見直しは

式典中心で午前中に（福祉課長）

**問**

敬老町民の集いの見直しはどのようなになっているのか。光井福祉課長 老人会、社会福祉協

## 県予算に対する町の取り組みは

県の十三年度当初予算には八十六の新規事業が盛り込まれているが、勝浦町に該当するものは。

**問**

数藤理事 十三年度はすでに事業が執行されており、箇所は

**問**

十三年度の事業を完全に掌握していただければ、十四年度事業に対応できないのではないか。

**答**

数藤理事 アンテナを高く掲げ、いち早く情報をつかみ素早く対応しよう心がけている。県との連絡を密にし、得られた情報はいち早く関係課に伝え、対応を整えたい。

## グリーンツーリズム事業

## 今度こそ大丈夫か

## 地元体制

組織の再構築に努力中（産業振興課長）

**問**

事業の実施を議決したのは地元実行委員会の決意が示されたからだ。その後、地元でいろいろ問題があったと聞くが、地元の体制は大丈夫なのか。

**答**

戸川産業振興課長 現在、組織の再構

**問**

よく似た事業がいろいろの障害で思うに任せないと新聞報道されている。地元が消極的になる懸念はないか。

**答**

戸川産業振興課長 そういった事を逆に糧にしなが、「地元が一体となって努力すれば必ずやっつけていける」と町と地元実行委員が意識合わせしながら頑張っている。

## 誘致企業への対応に遅れ

**問**

誘致企業が次々と閉鎖している。昨年六月議会で町長は、町内誘致企業と接触し情報をキャッチしたいと答弁したが、その後、誘致企業連絡協議会も開かれていない。どのような対応をしたのか。

**答**

川口町長 対応に遅れがあり反省している。今後は誘致企業との連携を図っていき

# 新 しい 委 員 会 構 成



神原 忍 委員長



川端雅夫 副委員長



森 敏治 委員



原田昭三 委員



中西晴美 委員

**産業建設常任委員会**  
 (農業振興、県道、町道の整備などを調査・審査)



国清 栄 委員長



井出幸夫 副委員長



溝田義昭 委員



押栗義雄 委員



西浜勝己 委員

**厚生常任委員会**  
 (社会福祉、環境衛生などを調査・審査)



福德重二 委員長



中田丑五郎 副委員長



森 健 委員



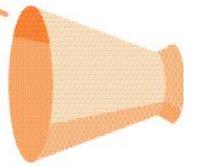
宮本久治 委員

**総務常任委員会**  
 (企画、財政、税務、教育などを調査・審査)

			議会運営委員会		
委員	副委員長	委員長	委員	副委員長	委員長
井出幸夫	森健	溝田義昭	中田丑五郎	原田昭三	神原忍

議会広報調査特別委員会 (議会だよりの編集)					
委員	副委員長	委員長	委員	副委員長	委員長
福德重二	川端雅夫	中田丑五郎	国清栄	溝田義昭	

# 声のひろば



## 活気のある町に

佐藤雅博さん(中山)



佐藤雅博さん・有子さんご夫妻

## 議会のうごき

### 5 月

- 1・6・9日 議会広報調査特別委員会
- 7日 東部広域農道整備促進特別委員会
- 9～11日 勝名地区正副議長県外視察研修
- 13日 近畿ふるさと会総会
- 16日 産業建設常任委員会
- 22日 厚生常任委員会
- 23日 市町村合併調査特別委員会  
町村議会議長会理事会
- 24日 土地開発公社理事会
- 29日 専門学校評議員会
- 30日 第3回臨時会・全員協議会・議会運営委員会

### 6 月

- 4日 総務常任委員会
- 5日 厚生常任委員会・勝浦川整備促進特別委員会
- 6日 産業建設常任委員会
- 9日 関東阿波かつうら会総会
- 13日 6月定例会開会・全員協議会  
産業建設常任委員会
- 19日 6月定例会・一般質問・産業建設常任委員会
- 20日 6月定例会・一般質問・議案審議  
産業建設常任委員会
- 21日 6月定例会・議案審議・全員協議会・閉会
- 27日 全国自由同和会勝浦郡連総会  
南部農免道路期成同盟会
- 28日 町村議会議長会臨時総会

### 7 月

- 2日 議員視察研修
- 3日 小松島市外三町村衛生組合安全祈願祭
- 11日 総務常任委員会
- 12・23・26・27・31日 議会広報調査特別委員会
- 17日 市町村合併調査特別委員会
- 18日 徳島東部広域農道整備事業促進協議会総会
- 19日 産業建設常任委員会・全員協議会
- 24日 厚生常任委員会
- 26～27日 全国カンキツ大会
- 31日 県道和食・勝浦線・鶴林寺線改良促進期成同盟会・勝浦郡人権啓発推進協議会総会

- Q** どんなお仕事ですか。  
**A** 菌床椎茸を生産しています。
- Q** 故郷はどこなところですか。  
**A** 江戸時代から材木の町として栄えた東京の木場で育ちました。
- Q** 勝浦町の印象は。  
**A** 自然が豊富で水も空気もおいしい町です。
- Q** ご家族は。  
**A** 妻と娘三人です。
- Q** この町に住むことになったきっかけは。  
**A** 田舎に住むのが私の夢のひとつでした。妻の出身地である勝浦町へ十三年前思い切つて一家で移りました。
- Q** 勝浦へ来て驚いたことは。  
**A** ホタルやヘビがいてびっくり

佐藤さんは仕事の関係で十数年間、ドイツで生活された経験をお持ちです。活気のある町づくりのため、いろいろご指導いただきたいと思ひます。

- Q** 好きな言葉は。  
**A** 万年初歩 今日出発
- Q** 活気のある町になってほしいと思ひます。  
**A** 環境に対しての考えは。  
**A** ドイツなみに厳しく規制し、小さな町から地球汚染を防ぐ手本を示してほしいと思ひます。
- Q** 将来どんな町になればよいと思ひますか。  
**A** 活気のある町になってほしいと思ひます。
- Q** しました。また、お年寄りと話をするると外国語みたいで何を言っているかわかりませんでした。

## 編集後記

今日は終戦記念日、今では戦争の悲惨さを知らない世代が多くなっています。私も戦争の思い出はほとんどありませんが、食物や衣服、学用品までが十分に無かった戦後のあの貧しさは忘れることができません。

「政治など誰がやっても同じ」との声をよく耳にしますが、先に立つ者の判断が多くの人々を幸せにしたり、不幸のどん底に突き落としたりするのではないのでしょうか。

政治に携わる者は、どうするのがより多くの人々の幸せにつながるかを常に考えていかなければならないと思ひます。議会だより「かつうら」も満四歳になりました。委員が二人変わり、心新たに編集に取り組みたいと思ひます。(義)



福徳委員 国清副委員長 満田委員長 川端委員 中田委員